

知恵の樹

No. 263 2022.2.22

町田の図書館活動をすすめる会

<https://machida-library.jimdo.com>

代表：手嶋 孝典

tejitaka@f8.dion.ne.jp

<報告>市長選に際しての「公開質問状」の回答について

町田の図書館活動をすすめる会 守谷 信二

この度の町田市長選挙には、石阪丈一(無所属)、よしわら修(無所属)、おぐざわ高広(日本維新の会)、清原おさむ(無所属)、黒川あつひこ(つばさの党)、宮井ひろなお(無所属)の各氏が立候補された。当会では、事前に図書館政策に関する公開質問状を各候補者に送り、その回答を一覧にしたものを会のHPで公表した。紙幅の関係で本号への掲載は上位得票者4氏の回答のみとせざるを得ないが、質問状そのものや他の2氏の回答についてはHPでご確認いただきたい。

質問状の【問1】では、「まちづくり」の課題を重要度に従って第5位まで挙げてもらった。多くの候補者が「①(市民の命と健康を守る)医療・保険体制整備」を第1位としたのは当然だが、私たちの主張である「④教育・文化の充実」を第3位までに挙げた候補が6名中4名あったことは、当会への「忖度」だとしても心強いことである。【問2】は、学校図書館に対する考え方である。「⑤IC環境の整備」(6名全員)に続いて、「④学校司書の公募、配置」も4名が挙げている。【問3】市立図書館のあり方では、一部条件付きも含め「⑧図書館員は司書を採用・配置」が4名、「図書購入費」についても増額すべきという候補が4名である。「効

率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」の扱いについては、「②実施済み以外は見直し」を3名が挙げている。

以上が候補者6名の回答の要点だが、問題は当選された石阪丈一氏の回答である。「まちづくり」の重要課題として「教育・文化の充実」を第3位に挙げられたこと、また「学校司書の公募、配置」を「特に力を入れるべき取り組み」とされたことは評価したい。しかし、その一方、市立図書館のあり方では「指定管理化」や「イベント等賑わい創出」の重視、図書購入費の「当面低くても止む無し」との回答などは到底容認しがたいものである。

憲法第26条第1項に規定された学習権について、1976年5月21日の最高裁判決が判例として確定している。曰く、「この規定の背後には、国民各自が、一個の人間として、また、一市民として、成長、発達し、自己の人格を完成、実現するために必要な学習をする固有の権利を有すること(中略)が観念として存在している」。図書館の充実を求めるのは、憲法に保障された市民の権利である。私たちは、今後とも粘り強い運動を継続しなければならない。

2022年町田市長選挙立候補者への公開質問状回答結果一覧

| 候補者名(受理順) | 清原 おさむ | 石阪 丈一 |
|-------------------------|-------------------|-------------------|
| 依頼(送付・送信)日 | 2022.2.1 | 2022.2.1 |
| 回答日/受理日 | 2022.2.1/2022.2.4 | 2022.2.6/2022.2.8 |
| 【問1】“まちづくり”課題の重要度(5位まで) | | |
| ①医療・保険体制整備 | 第1位 | 第1位 |
| ②省エネ・創エネ社会実現 | | 第2位 |
| ③賑わい創出 | 第2位 | |

| 候補者名(受理順) | 清原 おさむ | 石阪 丈一 |
|-----------------------|---|-----------------------------|
| ④教育・文化の充実 | | 第3位 |
| ⑤自然環境の保全 | | |
| ⑥子ども・障害者・高齢者への福祉援助 | | |
| ⑦ジェンダー平等社会の実現 | | 第4位 |
| ⑧若者への就学就労支援 | | 第5位 |
| ⑨その他 | | |
| コメント: | 夕張市のように経済が成り立たないと、税収だけでなく都市の機能が麻痺してしまいます。前提として、このコロナ禍でわかったように、市民の命と健康をまず守ることが大切です。その上で経済を支えないと、それ以外の設問(②④⑤⑥⑦⑧)は維持できないと考えています。それ以外の設問に関しては、順位は無いと考えています。 | 多様性を認める社会、持続可能な地域づくりにとって重要。 |
| 【問2】学校図書館 | | |
| ①図書購入費 | ○ | |
| ②教員増 | | |
| ③図書指導員の待遇改善 | | |
| ④学校司書の公募、配置 | ○ | ○ |
| ⑤ICT環境の整備 | ○ | ○ |
| ⑥その他 | | |
| 【問3】市立図書館について | | |
| (1) 町田の図書館のあり方 | | |
| ①いま以上の充実不要 | | |
| ②館数を増やすなど充実が必要 | | |
| ③指定管理など民間の活用を | | ○ |
| ④市の直営であるべき | | |
| ⑤資料提供よりイベント等賑わい創出を | | ○ |
| ⑥ベストセラーなどではなく高価本を | | |
| ⑦あらゆる資料・情報を無料で | ○ | |
| ⑧図書館員は司書を採用・配置 | ○ | |
| ⑨司書は不要 | | |
| ⑩その他 | ○地域特性の変化(人口増など)などに対応した町田市全体の図書館計画の必要があると考えています。 | |
| (2) 図書購入費 | | |
| ①大幅な増額 | | |
| ②多摩地域各市の平均まで増額 | | |
| ③当面低くても止む無し | | ○ |
| ④さらに圧縮の必要 | | |
| ⑤その他 | ○基本的には増額すべきだと考えています。しっかりとした図書館計画を策定してその中で議論したいと考えています。 | |
| (3) 「アクションプラン」 | | |
| ①「アクションプラン」を推進 | | ○ |
| ②実施済み以外は見直し | | |
| ③新たな図書館振興プラン | ○ | |
| ④その他 | | |

| | | |
|-------------------------|--|---|
| 候補者名(受理順) | よしわら 修 | おくざわ 高広 |
| 依頼(送付・送信)日 | 2022.2.1 | 2022.2.1 |
| 回答日/受理日 | 2022.2. ○/2022.2.12(FAX) | 2022.2.8/2022.2.13(FAX) |
| 【問1】“まちづくり”課題の重要度(5位まで) | | |
| ①医療・保険体制整備 | 第1位 | |
| ②省エネ・創エネ社会実現 | | 第4位 |
| ③賑わい創出 | | 第3位 |
| ④教育・文化の充実 | 第2位 | 第1位 |
| ⑤自然環境の保全 | 第4位 | |
| ⑥子ども・障害者・高齢者への福祉援助 | 第3位 | |
| ⑦ジェンダー平等社会の実現 | | 第5位 |
| ⑧若者への就学就労支援 | 第5位 | 第2位 |
| ⑨その他 | | |
| コメント: | 人口減少社会の中で、町田市が持続可能な発展をするためには、中心市街地やその他駅周辺にビジネス拠点を設け、他市からも仕事に来てもらうような環境をつくり、昼間人口を増やさなければならぬと考えています。そのことが、常に若い人が集える街となっていくはずで、市民の命や健康を第一に考えるのは当然ですが、今後のまちづくりを考えたとき、子育て世代が町田に住みたいと思える環境づくりが大切です。そのためには子供の福祉を充実させるとともに、教育や居場所づくりなどの施策を充実しなければならぬと考えます。 | ⑥の福祉は町田市の使命であるが、その充実のためには④や⑧で子育て世代が住みたいと思えるまちづくりをし、③や②によって市としての財源を産み出していくことが不可欠。これらの「安心と挑戦と成長」を循環させていく。⑦は日本があまりにも遅れており、早くジェンダー平等を当たり前の日本にしたい。 |
| 【問2】学校図書館 | | |
| ①図書購入費 | ○ | |
| ②教員増 | ○ | ○ |
| ③図書指導員の待遇改善 | | |
| ④学校司書の公募、配置 | | ○ |
| ⑤ICT環境の整備 | ○ | ○ |
| ⑥その他 | | |
| (欄外への記述) | | * 学校図書館や学校司書が、子供たちの探求学習により深く関わることのできるしくみを整えたい。 |
| 【問3】市立図書館について | | |
| (1)町田の図書館のあり方 | | |
| ①いま以上の充実は不要 | ○ | |
| ②館数を増やすなど充実が必要 | | |
| ③指定管理など民間の活用を | | △ |
| ④市の直営であるべき | | △ |
| ⑤資料提供よりイベント等賑わい創出を | | ○ |
| ⑥ベストセラーなどではなく高価本を | | |
| ⑦あらゆる資料・情報を無料で | ○ | |
| ⑧図書館員は司書を採用・配置 | ○ | △ |
| ⑨司書は不要 | | |
| ⑩その他 | | |
| (欄外への記述) | | △:いかに魅力的な場にするか、そのためにはどの手法が最適かつ実現可能か、議論を深めたい。 |

| | | |
|----------------|---|---|
| (2) 図書購入費 | | |
| ①大幅な増額 | ○ | |
| ②多摩地域各市の平均まで増額 | | ○ |
| ③当面低くても止む無し | | |
| ④さらに圧縮の必要 | | |
| ⑤その他 | | |
| (3)「アクションプラン」 | | |
| ①「アクションプラン」を推進 | | |
| ②実施済み以外は見直し | ○ | ○ |
| ③新たな図書館振興プラン | | |
| ④その他 | | |

こんな本見～つけた！(第34回)

『ビバリーとしょかんへいく』

アレクサンダー・スタッドラー(作・絵) まえざわ あきえ(訳)

文化出版局 2003年

紹介:丸岡 和代



表紙は黄色とむらさき色が上下半分づつに彩られたシンプルな色使いの絵本です。その真ん中に本を広げて持っている女の子が一人立っています。女の子が持っているのはどうやら恐竜の本の様です。でもその子は人間の子ではない様子。水玉模様のワンピースなんか着て赤いくつまではいますが、顔はカバのようなんです。

この子の名前はビバリーといいます。毎週火曜日になるとママと図書館へいくのが楽しみになっています。ビバリーは自分独自の利用カードを作ってもらい、一人でひとつひとつの本棚を見ていき、素敵な本を見つけます。本を眺めながら本棚の間をそぞろ歩く楽しさをビバリーは存分に味わった後、見つけた本の貸し出し手続きをします。ビバリーが今回借りたのは『白亜紀の恐竜』という本でしたが、すっかり気に入って、学校から帰ると連日その本に夢中になりました。毎日毎日眺めたり、読んだりしている内に気がついたら返却日を過ぎてしまっていました。さぁ大変！

遅れたら罰金 10 万円も返さないといけないという友達もいれば、「牢屋に入れられた人を知っているよ」などというクラスメートもいたりして、お腹が痛くなるやら恐竜におそわれる夢をみるやらで大ピンチに陥ります。

そんなビバリーをママが助けてくれました。係の人にごめんなさいを言うとその本の返却を待っていた男の子がいるのを知り、二人は友達になり、ついにはその本をきっかけにして図書館の中に恐竜クラブを作った

のでした。

作者のアレクサンダー・スタッドラーさんは、ペンシルヴァニア州フィラデルフィアに在住とのこと。役者、テキスタイル・デザイナーなど様々な職業を経験した後、絵本作家が自分の天職だと気づいて作ったのがこの一冊だそうです。私は偶然さるびあ図書館に寄り、ひなまつり関係の絵本や紙芝居を物色しているおりにこの本に出会いました。私の所属している NPO 法人まちだ語り手の会の日頃は、小学校へのおはなし会(45分位)や学童クラブ、子どもクラブ、乳幼児施設のおはなし会(30分位)を依頼を受けて実施しています。

この絵本は色彩がはっきりしていて遠目が効くこと、子どもになじみ深いイグアドン、トリケラトプスなどの恐竜の名前が登場していること、また返却日をオーバーした時の主人公ビバリーの気持ちの揺れ動きが魅力的だなとおもったのでした。

乳幼児には向かないかもしれませんが、図書館に親しむことが習慣になるようにぜひ、幼稚園の年長さんや小学校低学年の人たちに見てほしい絵本です。独特のタッチの絵は楽しく、登場している動物を当てるのも面白いでしょう。恐竜の知識に疎い私はアンキロサウルスという恐竜がいたことさえ知りませんでした。こんどどこかのおはなし会でこの本を活用してみたいと考えているところです。(会員)

* 町田市立図書館は、6冊所蔵しています。

第22回 まちだ男女平等フェスティバル [2月4日(土)・5日(日)]

「コロナ禍を乗り越え今こそ、ジェンダー平等の町田を」 動画配信にて開催

草谷桂子さん基調講演「絵本で見るジェンダー 時代と立ち位置で、どう違う？」

報告：増山 正子 (NPO 法人まちだ語り手の会代表)

町田市は2001年2月に男女平等参画都市宣言をし、男女平等参画社会をめざすことを明らかにしました。それを機に、男女平等推進センターでは、この趣旨に賛同し活動をしている団体の登録制度を設け、登録団体による実行委員会を中心に毎年2月初めの土・日に「男女平等フェスティバル」が市民フォーラム全館で開催されるようになりました。まちだ語り手の会は、登録団体として初頭からこのフェスティバル実行委員会に参画し、民話や物語の中の女と男をテーマに語り伝えてきました。今回、草谷桂子さんによる標記講演会が実行委員会のメイン企画として取り上げられ、ホールで4日に開催予定でしたが、新型コロナ感染防止のため、フェスタは全てオンライン配信となりました。生でお聞きすることができず残念でしたが、全国の人が町田市の男女平等フェスティバルでのイベントを見てくださる機会に恵まれたことを、一面、喜んでおります。

動画を見て下さることを願って、この稿では講演内容のアウトラインと感想を記するに留めます。

「絵本で見るジェンダー 時代と立ち位置で、どう違う？」

草谷桂子さんの基調講演から

静岡市葵区の自宅で、本と子どもたちとの交流の場「トモエ文庫」を1981年より主宰し、「静岡図書館友の会」主要メンバーとして長年図書館運動にも関わっておられる草谷さんは、児童文学作家として童話やエッセイなど、数多くの著書を出版されておられます。

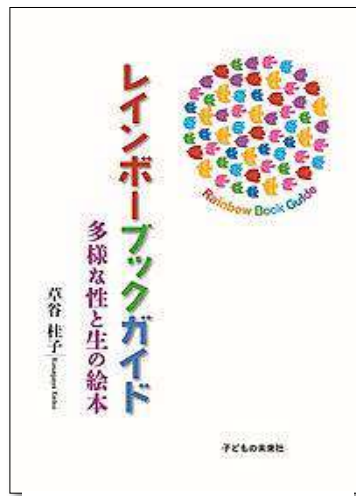
最初に、「絵本のこともジェンダーのことも正式に学んだのではなく、子どもと子どもの本に関わる仕事と活動の中から、子ども達と楽しんできた目線で話をさせていただく」として、まず、現在の活動と仕事についての自己紹介で、ジェンダー関連の自著6冊を紹介。2月5日に発刊されたばかりの最新刊『レインボーブックガイド～多様な性と生の本～』は、「ジェンダー」「性教育・多様な家族」「LGBTQ」「子どもをとりまく問題」等に関連絵本を分類して232冊を紹介しており、講演内容にも合致するジェンダーを知るガイドブックです。

ご自身が体験された環境の中でのジェンダー意識と概念や歴史について話された後、パワーポイントを使ってジェンダーの視点からテーマ別に、絵本を分かりやすく紹介され、絵本は、未知のものを知る喜びと、知っていることを確認する喜びをもたらす、生きるヒントをもらう、時代と社会を知る、多様なモデルに出会い多様な選択肢を知るとして、発行年と共に絵本の中のジェンダー描写を楽しく解説。

「ジェンダーの視点で見る絵本の変遷」5冊、「刷り込みに気付く」2冊、「自分らしく」7冊、「自立したおひめさま」4冊、「男だって花が好き・強くなくても魅力的」5



冊、「家事育児を楽しむ男性」3冊、「男の沽券にこだわらない！」2冊、「パートナーとの関係」4冊、「多様な家族」5冊、「多様な性」6冊、「教育の果たす力」3冊、「絵本の中のさりげない描写」15冊。



発行：子どもの未来社
A5判 160頁 1,500円+税

戦後四国の片田舎で育った私は、化粧をしている人は「水商売の女」、外国人は「怖い人」等々と刷り込まれていた。黒人への偏見は、トリニダードトバコに旅し黒人の素晴らしさを知り払拭されたが、実体験だけではなく、こうした絵本を読んでいたなら、差別意識など、きっと持たなかつただろう。

男女平等推進センターのホームページには、「学校司書のメーリングリストで紹介されていました。今までジェンダーを意識せずに読んでいた絵本が多数あり、とても勉強になりました。未見の絵本は全て図書館の予約かごにいたので全て読んでいきます。」との感想が寄せられたとのこと。(団体会員・個人会員)

【基調講演「絵本で見るジェンダー」動画】 下記町田市ホームページにて3月31日まで配信、是非ご視聴下さい。

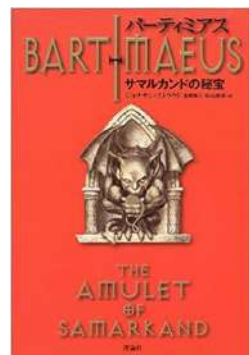
<https://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/community/danjo/festival/22nd-festival.html>

地域の子どもたちがお薦めする図書館の本(第2回)

『バーティミアス サマルカンドの秘宝』

ジョナサン・ストラウド(作) 金原瑞人・松山美保(訳) 理論社 2003年

推薦：佐々木 理緒(ささき・りお) 和光中学校1年生



時は近代、場所はロンドン。国を動かしているのは魔術師たちだ。魔術師たちは妖魔を呼び出し、自由に命令し、様々な仕事をさせている。見習い魔術師の少年は、自分をはずかしめたエリート魔術師、サイモン・ラブレースに復讐を誓っていた。その少年、ナサニエルがむこうみずにも一人の魔神(ジン)を召喚した。そのジンの名はバーティミアス。中級レベルで5010歳、ベテランの皮肉屋なジンだ。

ナサニエルは彼に「サイモン・ラブレースの家からサマルカンドのお守り(アミュレット)をとってこい」と命令を下す。サマルカンドのお守りは非常に強い魔力を持っている。その持ち主も優秀な魔術師に違いない。命令に縛られたバーティミアスはしかたなく屋敷へ向かう。防衛網をカモくぐり、敵のジンと戦い、奮闘する。しかし、それを境に2人は魔術師たちの陰謀と命懸けの戦いに巻き込まれていく。物語は、バーティミアスの視点での一人称の章と、ナサニエルの視点での三人称の章で語られる。バーティミアスの章ではページの下に脚注があり、バーティミアスのコメントがついている。

第1部「呼び出された者」では、バーティミアスの皮肉な口調で語られる臨場感たっぷりの章と章の間で、ナサニエルの幼少期の出来事が少しずつ明らかにされる。生意気で傲慢で、ひねくれているけど「魔術師には珍しく」良心を持っているナサニエルが復讐に取り憑かれて起こした行動が大事件になっていく。

第2部「秘密をにぎる者」では、物語が急展開を迎え、ナサニエルは師匠であるアーサー・アンダーウッドに問

い詰められる。ナサニエルが師匠にも出来の悪い子だと思われているのがわかる印象的な場面だ。

そして第3部「秘宝の威力」では、ナサニエルとバーティミアスが危機を迎える。緊張感あふれる2人の会話はとてもハラハラする。果たしてバーティミアスは無事にナサニエルから解放されることができるのか。読んでいて手に汗を握る展開が続き、最後が気になって読みたくなってしまうこと、間違いなしだ。

私がこの本を紹介しようと思った理由は、第1にとにかく面白いからだ。私は読んでいてドキドキするスリル満点なストーリーが好きだ。危険が迫っていることがわかるから、心の中で大騒ぎしながら読むことができる。「この後どうなるんだろう」と読みながらドキドキして、全部一気に読んでしまった程の面白さだ。バーティミアスの皮肉たっぷりの口調や、悪態のつき方、ナサニエルとの関係や会話も魅力的だ。5010歳のジンなので、経験豊富で、脚注で出てくる昔の自慢話も面白い。

第2の理由は、私の周囲でこの本を知っている人が少ないからだ。本書『バーティミアス サマルカンドの秘宝』は、「バーティミアス三部作」の第1作だ。600ページあまりで、第2,3作目も同じくらい分厚い。それだけの量の本書を読んでいる人が近くにいないので、紹介する書籍に選んだ。長いけれど面白くて読みやすいので、ぜひ読んでほしい。

* 町田市立図書館は、7冊所蔵しています。

第19期図書館協議会 第4回定例会報告 (報告者：協議会副委員長 鈴木 真佐世)

2022年1月25日(火)午後2:00~4:00 町田市立中央図書館6Fホール 出席9名 傍聴1名

≪1. 図書館からの報告事項≫

1. 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う図書館の対応について(対応に変化なし)
2. アクションプランの取組など

- (1) 移動図書館PR動画「移動図書館、結構イイかも。」の作成について:さがまち学生 Club の協力。2月1日(火) YouTube にて公開。
- (2) デジタルデバイス対応促進事業について

①中央図書館へのフリーWi-Fiの導入 導入時期:3月上旬を予定 導入場所:6階ホール、中集会室(わいわいキャレル) 5階レファレンス、YA、パソコン席、雑誌の各コーナー付近

②講習会「はじめてのスマホ体験」の開催日時:3月15日(火)、24日(木)、27日(日) 14:00~16:00 場所:中央図書館6階ホール

内容:スマートフォンを持っているが使いこなせない方やこれから使いたい方を対象に、電話やカメラ、メール等の基本操作からLINEやYouTube等便利なアプリの使い方を支援する。申込:各回15名(各回とも同一内容) 3月2日(水)から、15日分については13日(日)まで、24日・27日分については、21日(祝)までイベントまたはイベントダイヤル申込。

(3)鶴川駅前図書館への指定管理者制度導入の準備状況について:従業員がほぼ決まった。一部の従業員は、2月から引き継ぎ、研修で駅前図書館に出勤する。

《2. 移動図書館について》

第2回、3回で出た疑問、質問に対する図書館の回答が資料として用意されたうえでの意見聴取だった。しかし、第18期協議会の委員側の結論であった移動図書館を充実させる(現行の3台を小型化も含めて4台に増やすなど)案は、19期での議論に全然反映されていなかった。18期からの引き続いての委員は、納得出来ない旨を伝えた。

《3. 図書館評価について》

前回の全員での検討後、委員から送ったメールでの修正案を加味して委員長がまとめた最終案を確認、図書館に出す評価に関する報告も読み合って最終確認した。

評価文の結びには、現行の評価方式が、図書館の基本的運営方針との結びつきを意識しづらく、断片的な事業評価にとどまっていることを課題として挙げ、図書館と協力しながら改善したいということを入れた。

《4. その他》

・協議会の今後の運営方法について協議した。このところ、図書館側が協議スケジュールを決め、それに沿って協議を進め、資料に掲載される委員の意見のまとめも図書館側が作成しているが、協議会としてまとめの内容などについては事前に確認を取りたい旨を伝えた。

・配布資料に日付や第何回の定例会の資料かなどが書いていないので、保存の際に困るため、今後は資料に記述していただきたい旨を要望。受け入れられた。

・今年度は今回で5回の定例会が終了。次回は、次年度の7月あたりになる予定。

報告者からの意見:2016年度までは1期(2年間)で20回であった定例会が、予算がないということで2017年度からだんだん回数が減り、今年度はどうも1期10回(年度で5回)にまで減りました。このような少ない回数の中で、外部評価作業が大きな割合を占め、新しく委員になった方は、図書館のことを十分に理解できないまま外部評価作業に携わるようになってしまっています。回数が減ったことで、図書館の運営やサービスについて図書館と委員との自由な意見交換や委員からの提案などに時間が割けなくなってきていることを大変残念に思います。市民のための図書館なので、各分野から出ている委員との意見交換ができるように、ぜひ、1回でも多く定例会が持てるようになることを望みます。(会副代表)

「杉山亮さんのものがたりライブ」を開催します!

町田の学校図書館を考える会

当会は学校図書館の充実と子どもたちの読書環境向上を願って活動しています。このたび、2年ぶりにリアルな講演会を企画いたしましたので、ご案内いたします。おとなも子どもも一緒に楽しい時を過ごしましょう!

子どもの本の大交流会 2021年《杉山亮さんのものがたりライブ》

日時:2022年3月26日(土)14:00~16:30(13:30開場)

会場:町田市文化交流センター 5階 けやき東

講師:杉山亮さん(児童書作家、ストーリーテラー、おもちゃ作家)

資料費:500円(大人)、子ども無料 申し込み:こちらのQRコードから

定員:80名(先着順) 問合せ:machidagakuto@gmail.com



☎ 090 4121 9667(町田の学校図書館を考える会)



ひろば

例会 1/25 (火) 報告

・16:00～印刷・発送作業等:
清水・鈴木・手嶋・丸岡・守谷

・18:00～20:30
中央図書館・中集会室

出席:石井・金澤・清水・鈴木(真)・
手嶋・福田・守谷・山口 傍聴 2名

議題

1. 会報について

次号(№263):巻頭言(「市長選挙立候補者への公開質問状」関連記事)(守谷)、「こんな本見～つけた!」第34回(未定→丸岡に依頼)、「地域の子どもたちがお薦めする図書館の本」第2回(高橋門樹さんと調整)、第4回図書館協議会報告(鈴木(真))、「学校図書館を考える会」講演会の告知記事(清水)、草谷桂子さん講演会報告 増山に依頼。

2. 今年度の活動計画について

○講演会について

(仮)「図書館は市民の宝物!」

主催:「すすめる会」、鶴川図書館大好き!の会、まちだ未来の会、町田の学校図書館を考える会の共催
日時:4月15日(金)午後6時半～(午後6時開場) 会場:鶴川ポブリホール 次第:①現状報告(鈴木真佐世)②基調講演:辻由美氏(町田市在住、作家・翻訳家)タイトルは 辻さんと調整中③「パネルディスカッションー市民生活を支える公立図書館ー」辻由美氏(翻訳家)、山口源治郎氏(東京学芸大学特任教授・図書館情報学)、青木洋子氏(多摩市に中央図書館をつくる会代表)、伊藤久雄氏(NPO法人まちぼっと理事)、コーディネーター:藺田碩哉
参加費:500円(オンライン参加も)

3. 「町田市5カ年計画 17-21」、「町田市公共施設等総合管理計画」等について

○鶴川図書館大好き!の会の取り組み:今年度は鶴川図書館が公立図書館として存続できるよう活動する。

NPO 法人町田市レクリエーション連盟の「子どもも大人も遊びもまちだ展」(2022.2.23)に参加する。ヘンゼルとグレーテルの顔はめパネルを12月18,19日に冒険あそび場の子どもたちと作った。⇒中止

○「すすめる会」の取り組み:

①鶴川駅前図書館への指定管理導入スケジュール

指定管理者の職員はほぼ決まったと協議会で報告があった。

②図書館嘱託労との話し合い

12月2日(木)午後6時～町田市民文学館3階第1・2会議室12名参加(記録を作成中)

③市長選挙の立候補者への公開質問状について

「すすめる会」のメーリングリストで確認を取りたい。今回は市議には送らない。⇒市議にも送った。

4. 「しんぶん赤旗」購読中止問題について

「すすめる会」のホームページに投稿があった。本日、例会に傍聴参加された。

5. 「噂の東京マガジン」(BS-TBS)の取材について

「すすめる会」のホームページに、「図書館の指定管理者制度について取り上げる企画を考えている。町田市の図書館でも導入が検討されているようだが、一度ご意見を伺いたい」との連絡があった。1月28日(金)午後2時～電話を受けることにした。

報告

1. 第22回町田子ども読書推進計画推進会議

2020年度の反省と2021年度の途中経過を報告。

2. 第19期図書館協議会第3回定例会

○図書館評価の外部評価について

○移動図書館について

○協議会の運営方法について 本紙№262参照。

3. 団体及び個人からの報告

嘱託労:これまで交渉していた鶴川駅前図書館人数分の人員は確保してもらえた。会計年度任用職員の公募(8名)が実施され、HPに掲載された。

柿の木文庫:文庫でのおはなし会は予約制で実施しているが、コロナの拡大で、保育園やつるっこでのおはなし会はできなくなってきている。

石井:図書館は休館せずやっている。コロナ対応で図書館に行けない人が出てきている。その対応策を図書館全職員に周知している。出張ブックトークは実施した。おはなし会ボランティアさんが辞退されるケースが出てきたときは、職員だけでおはなし会を実施している。

山口:図友連では昨年から新しく「専門職プロジェクト」が始まった。日野市の図書館協議会は外部評価が終わったので、次回はコロナ対応の報告だろう。

《編集後記》市長選挙は現職が圧勝。市長の交代を実現させ、「アクションプラン」の見直しを図ろうとの試みは、残念ながら潰えた。でも決して諦めない。(T2)